

# バイオマス・ニッポン総合戦略における目標達成状況

参考資料 2

	目 標	平成18年度	平成19年度	平成20年度	今 後
<b>バイオ燃料の利用促進</b>	<p>【平成23年】 単年度5万KLの国産バイオ燃料生産</p> <p>【平成42年頃】 単年度600万KLの国産バイオ燃料生産(農林水産省試算値)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオエタノール 30KL</li> <li>・バイオディーゼル燃料 5,000KL</li> </ul> <p>・「国産バイオ燃料の大幅な生産拡大に向けた工程表」を総理報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオエタノール 90KL</li> <li>・バイオディーゼル燃料 5,000KL</li> </ul> <p>・「バイオ燃料地域利用モデル実証事業」開始 バイオエタノール 3地区 バイオディーゼル燃料 13地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオエタノール 200KL</li> <li>・バイオディーゼル燃料 10,000KL</li> </ul> <p>・「ソフトセルロース利活用技術確立事業」開始 バイオエタノール 3地区</p> <p>・「農林漁業バイオ燃料法」の成立 ・バイオ燃料関連税制の創設</p>	<p>【平成21年】 大規模実証事業による国産バイオ燃料生産が本格化。</p> <p>事業による平成23年のバイオ燃料生産見込量 バイオエタノール 3.1万KL バイオディーゼル燃料 1万KL</p> <p>残り1万KLの生産量で目標達成</p>
<b>バイオマスタウン構築の加速化</b>	<p>【平成22年】 バイオマスタウン構想を全国300地区程度で策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度末 90地区</li> <li>・バイオマスタウンアドバイザーの育成 32名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度末 136地区</li> <li>・バイオマスタウンアドバイザーの育成 64名</li> </ul> <p>・バイオマスタウン構想策定の手引きを作成し、全国に配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度末 196地区(197市町村)</li> <li>・バイオマスタウンアドバイザーの育成 100名</li> </ul> <p>・「全国バイオマスタウンサミット」の開催 ・「バイオマスタウン加速化戦略」の策定</p>	<p>【平成21年】 4月末現在208地区(209市町村)</p> <p>【平成22年】 バイオマスタウン構想を全国300地区程度で策定を目指す</p> <p>残り2年間で目標を達成するために、更なる加速化が必要 構想の実現が図られるよう支援する必要</p>
<b>アジア等海外との連携</b>	<p>日本におけるバイオマス利活用の成果の海外への普及等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマスアジアワークショップ開催(日本)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマスアジアワークショップ開催(マレーシア)</li> <li>・「バイオ燃料政策に関する国際シンポジウム」の開催(タイ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマスアジアワークショップ開催(中国)</li> <li>・「東アジアにおけるバイオマスタウン構想普及支援事業」開始(実施地区をタイ、ベトナムに決定)</li> </ul>	<p>【平成22年】 タイ、ベトナムにおけるモデル地域において現地研修や人的ネットワーク構築の実施によりバイオマスタウン構想策定</p>

# 国産バイオエタノールプラントが本格稼働

平成21年5月24日に日本初の大規模国産バイオエタノールプラントが竣工  
初年度は7,500kl、最終的には15,000klのバイオエタノールを製造予定

## 北海道バイオエタノール(株) ~ 清水工場 ~



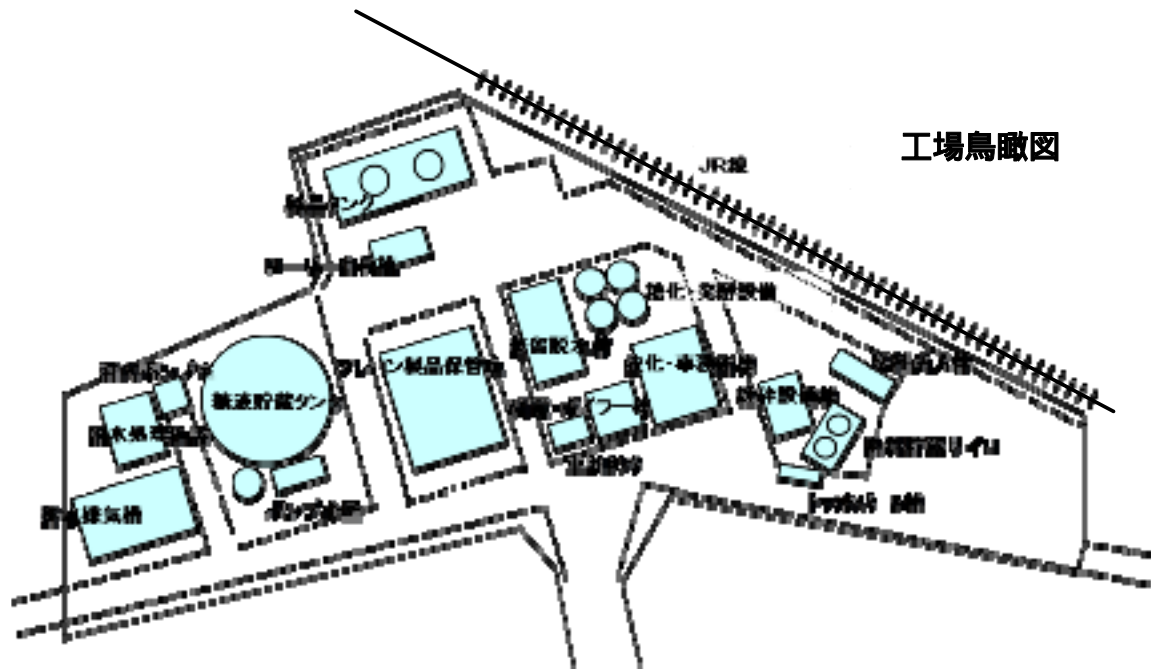
発酵槽



蒸留・脱水棟



原料受入施設、小麦サイロ



工場全景

# バイオスタウン構想を公表した209市町村 (平成21年4月末現在)

